

研究・調査報告書

報告書番号	担当
216	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
<p>At-risk drinkers are at higher risk to acquire a bacterial infection during an intensive care unit study than abstinent or moderate drinkers.</p> <p>過量飲酒者は非飲酒者や中等量飲酒者に比べ ICU 入院中に細菌感染をおこすリスクが高い</p>	
執筆者	
Gacouin A, Legay F, Camus C, Volatron AC, Barbarot N, Donnio PY, Thomas R, Le Tulzo Y.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Crit Care Med.2008; 36: 1735-1741.	
キーワード	
<p>at-risk drinker, ICU-acquired bacterial infection, ventilator-associated pneumonia</p> <p>過量飲酒、ICU で感染した細菌感染症、人工呼吸器関連肺炎</p>	
要 旨	
<p>目的： 過量飲酒は ICU 入院期間内における細菌感染、特に人工呼吸器関連感染症と関係があるかを外傷のない患者で検討する。</p> <p>方法： 大学病院の種々の細菌が混在する ICU (病床数 21) において前向きコホート研究を行った。対象は 1 年間の研究期間のうちで ICU に 3 日以上入院し、飲酒習慣についての情報が得られた 358 人とした。National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism 基準により対象者を飲酒量によって分類し、各群の細菌感染、特に人工呼吸器関連感染症の発症数を比較した。</p> <p>結果： National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism 基準により 31% の人が過量飲酒に分類された。このうち 61 人が 1 日 5drink 以上飲酒しており、73 人が Simplified Michigan Alcohol Short Test スコア 3 以上であった。88 人が ICU で細菌感染をおこし、69 人が 1 箇所以上の人工呼吸器関連肺炎と診断された。40 人 (36%) の過量飲酒者、48 人 (19%) の非飲酒者が ICU で細菌感染をおこし発症率に有意な差があった ($p < 0.001$)。過量飲酒者の中でも、細菌感染をおこすリスクは 1 日 5drink 以上飲んでいていた群ではそれ以下しか飲まない群に比べ有意に高かった ($p = 0.48$)。性、年齢、Simplified Acute Physiology Score II、ICU に入る前の入院期間、ICU 入室前 24 時間以内の抗生剤使用の有無、抗生剤使用の方法、免疫抑制の有無、人工呼吸器の使用時間、中心静脈や尿路カテーテル留置の有無を調整しても、過量飲酒は細菌感染のリスク (ハザード比 1.92 (95%信頼区間(CI):1.17-3.14; $p = 0.009$) や人工呼吸器関連肺炎のリスク (ハザード比 1.76 (95%信頼区間(CI):1.05-3.06; $p = 0.04$) が有意に高かった。</p> <p>結論： 過量飲酒は ICU 入院期間中の細菌感染に対する重要な危険因子である。</p>	